

## 「サイエンスカフェ徳島・さいえんす茶房 in 讃岐」の取り組み

今枝正夫、堤一彦、小倉長夫、内田正教、服部大介、○大井文香

(JST イノベーションサテライト徳島)

### 1. はじめに

科学技術を理解増進のために主に高校生を対象として、徳島、香川の大学にて活躍する研究者の研究成果を紹介する活動を行った。身近な場所で好みの飲み物を飲みながら気軽に科学技術の理解を深める活動を試みた事例について報告する。

### 2. 「サイエンスカフェ徳島・サイエンス茶房 in 讃岐」の概要

科学技術振興機構は地域の科学技術振興を目指して、各地域の大学、高等専門学校、公設試験場等、また、これらの機関と共同研究を試みる企業の研究活動の支援を行うプラザ、サテライトを全国に設置した。JST イノベーションサテライト徳島は、香川県、徳島県にまたがる地域の大学、公設試の研究活動、産学連携活動を支援する様々な活動に取り組んできた。

その活動の一つとして、地域の人々に対して、科学技術の理解増進と科学に対する親近感を深めるために、飲み物とお菓子を楽しみながら、科学の話を提供する「サイエンスカフェ」を開催した。両県内の可能な開催地を模索し、徳島大学常三島キャンパスにて「サイエンスカフェ徳島」、徳島文理大学讃岐校にて「さいえんす茶房 in 讃岐」と命名して継続開催を行った。

サテライト開設時には、徳島地区では14回の開催を行った。また、讃岐地区では各年4回開催のペースで開催した。

講演内容は徳島県、香川県の研究者の研究成果、講演対象は、高校生を中心に一般の人々と対象とした。高校生の参加を促進するために、各県の教育委員会、高校等に訪問を行い、学内での広報を依頼した。また、インターネット、メール配信、地域の放送機関、新聞機関等にマスコミへの広報依頼により、開催の周知を試みた。

講演者である研究者はコーディネータのネットワークに情報により随時決定された。それぞれの研究者は研究成果を一般向けにアレンジして講演を行った。分野は、ナノテク技術、衛星の打ち上げ、宇宙物理学、バイオテクノロジー、医学・薬学、持続可能な地球を目指した環境を提供するテクノロジー、等、地域の研究者の研究分野を生かした様々なものとなった。講演時には衛星の模型、食用油リサイクル用車両など様々な展示物の見学や体験も行うことができた。開催場所はそれぞれの学内の喫茶コーナーを利用した。

参加者は高校生、高校理科教諭、高校生の家族、新聞報道、テレビ報道を知って申し込んだ一般の人々等であり、幅広年齢層であった。参加者数は平均すると30名程度であった。

特に、高校生からは、講演内容に関する専門的な疑問、展示物に関する研究内容について、今後の進路に関する情報、科学者としての考え方など、様々な内容の質問がなされたが、講演者も講演以上に熱心な対応を行っていた。

来場者の感想では、講演内容の面白さ、実験への参加、研究成果物を間近で見学できたことへの感動、さらには、最先端の科学技術が地方の身近な場所で研究されていることを再認識したという内容もあった。

地域の地上波テレビ、ケーブルテレビ、ラジオ、新聞等にて開催後の内容が報道され、継続会における新たな参加者の獲得、イノベーションサテライト徳島の活動の活性化にも繋がった。

### 3. まとめ

JST イノベーションサテライト徳島によるサイエンスカフェ活動を行った。現在、徳島文理大学讃岐キャンパスでは引き続き「さいえんす茶房 in 讃岐」が開催されている。また、徳島大学では、総合科学部にて「サイエンスカフェ」が随時開催されている。

今後、地域の人々が、身近な場所で科学技術に親しむ機会を増やし、イノベーションの基盤を充実させれば、より大きな裾野から、次世代に向けて、これまでの融合分野の常識を超えた科学技術の発展の加速に繋がることが期待できる。

謝辞：「さいえんす茶房 in 讃岐」開催に御共催いただきました学校法人徳島文理大学、関係者の皆様に深謝申し上げます。